

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表  
(有効性評価 他)

No.	会合/ヒア 実施日	指摘事項	回答状況	資料No.	頁	回答内容
1	2017/2/21	SBO環境下における系統構成等の訓練実績を説明すること。	本日回答	資料2-4	1.0.9-25～29	SBO環境下における訓練を、プラント停止中に実施する訓練として位置付けるとともに、平成28年度に行った有効性シナリオにおける操作訓練や2017/2/21審査会合で指摘のあったSBO環境下における原子炉隔離時冷却系(RCIC)対応訓練実績についてご説明します。
2	2017/2/21	非常用ガス処理系の運転の成立性について、水素発生量、爆発規模、手順等を含めて説明すること。	次回回答			
3	2017/2/21	被ばく線量評価のうち、ベントによるものと原子炉格納容器からのリークによるもの、それぞれどの程度寄与するのか別途説明すること。	次回回答			
4	2017/2/21	溶融炉心ファンネル流入後のドレン配管における管壁の浸食量評価について、保守性を定量的に説明すること。	本日回答	資料2-3	40-40	前回お示した、評価条件の保守性に加え、最も長いドレン配管への溶融炉心の全量流入を考慮してもコンクリート侵食量がライナまで到達しないことをご説明します。
5	2017/2/21	ドレン配管のコンクリート浸食時に発生するガスの量と流出(排出)経路について説明すること。	本日回答	資料2-3	40-41	ドレン配管の侵食量に対応して発生し得る非凝縮性ガスの発生量を評価すると共に、想定される排出経路についてご説明します。
6	2017/2/21	D/Wドレン下部の凝固評価について、EPRI試験を引用しているが、アルミナによる試験結果の引用が保守的であることを定量的に説明すること。	本日回答	資料2-3	40-38	混合相に比べて凝固までの流動距離が長い、単相によるEPRI/FAIの実験結果を参照し、溶融炉心は混合相であるもののKK7に適用する際には保守的に流動限界固相率を1としている点に保守性があると考えざる旨をご説明します。
7	2017/2/21	溶融炉心の一部が、コリウムシールドを越えてサンプルに流入する場合の検討において、粒子化割合をどのように設定したのか説明すること。	本日回答	資料2-3	40-27	Ricou-Spalding相関式を用いて評価している点についてご説明します。
8	2017/2/21	ポロシティへの依存性を考慮した上面熱流束評価について、Lipinski0-Dモデルで使用した式のパラメータを説明すること。	本日回答	資料2-3	40-42	Lipinski0-Dモデルの式及び式中のパラメータについてご説明します。
9	2017/2/21	コリウムシールド設計に関する設計条件の根拠について説明すること。	本日回答	資料2-3	40-8 40-11	コリウムシールドの設計条件、根拠等についてご説明します。
10	2017/2/21	格納容器除染係数及び建屋換気率の変更に係る、被ばく評価、作業の成立性、遮蔽について再度説明すること。	次回回答			
11	説明事項	SRVの信頼性向上性対策について	本日説明	資料2-2 資料2-3	添3.2.1-1 47-1	SRVの機能維持の考え方を再度簡潔にご説明すると共に、SRVに対する設備対策の進捗状況についてご説明します。